【令和2年4月のご意見への回答】

ご意見	回　答
11階さくら病棟内のリハビリテーションに使用するバイクのサドルについて、経年劣化の為か非常にクッションが固くなっており、使用最中にお尻が痛くなってしまいます。血液内科の治療では、下痢や便秘、痔等に気をつけなければならないと医師、看護師の方々に伺っておりますので、固いサドルは非常にお尻や肛門に負担がかかってよくないのではないかと思います。出来れば、クッション入りのサドルカバーなどを付けていただくだけでかなり痛みが軽減されると思いますので、一度ご検討いただけないでしょうか。使用している全ての患者さんに喜ばれると思いますので取付ご検討を宜しくお願いいたします。	このたびは備品の劣化に伴う不快な思いと、身体へのご負担をおかけしたことをお詫びいたします。 できる限りの改善を試みております。貴重なご意見、ありがとうございました。
スタッフの皆さんの言葉使いとか丁寧でとても気持ちよく感じています。今コロナが大変な事になっていて三密を避けて欲しいと言われているので、換気が必要かと思われますが、換気出来る方法はないものでしょうか？	当センターの各室には、定期的に外の空気と室内の空気を入れ替える換気設備が設置されておりますので、窓が閉まった状態でも十分な換気はできておりますのでご安心ください。
大変綺麗な病院で職員の皆様も親切に対応して頂き喜んでいますが、ただ少し残念なことがあります。1）手術30分前に床頭台の荷物を含め、全てワゴンに纏めて欲しいと指示を受けました。手術後の部屋が変わることは病棟側の都合があるので理解できますが疑問①なぜ入院当初に指示をされないのか（非常に優れた行程表があるのにそれに盛り込めばよい）②なぜ手術30分前の指示なのか。③床頭台は移動可能なはずである。2）お腹のチューブを取っていただいた医師から「防水処置をすればシャワーが出来ますよ」と言われたのでその旨、看護師さんに依頼すると「1日待ってください」と言われた。疑問①どちらがこの病院の方針ですか、統一はされないのでしょうか。	このたびは不快なお気持ちにさせてしまい申し訳ありませんでした。 　手術当日の朝に急遽緊急ベットが必要となり、患者さんに床頭台の中を含む荷物を整理していただきました。なぜこのようなお願いをすることになったのか説明が不足していたことをお詫びいたします。 お腹の管を抜いた後のシャワー浴についてですが、およその目安として管を抜いた翌日に、患者さんのお体の状態に合わせて、より安全安楽なシャワーの方法、日時の調整を提案させていただいております。医療者間での言動の統一を図り、患者さんが安心してケアを受けられるよう、今後とも努力いたします。貴重なご意見をありがとうございました
この度、手術でお世話になり有難うございました。次の点について気付いたことを記します。①新型コロナの影響で家族との面会制限になったことは理解できます。又当然の対策と考えます。（従来ですと家族とともに手術までに時間を過ごすことが出来るところ）家族控室に手術前の3時間も誰とも会えず、不安で何の連絡もなく4階にいる家族への配慮としてスタッフの一声を掛けて頂くことは可能でしょうか。（メールでのやりとりはしましたけど）②今後の枕の大きさと中身と言い、決して安楽ではないです。③下肢に弾力性ストッキングの上に、ポンプ式のハドマが付けられ足元のベッド枠からベッド全体に振動が伝わり寝心地が不安定で装着中音も気になりこれも安楽ではなかったです。	新型コロナウィルスの影響もあり、手術前後の面会制限をさせていただいており、患者様やご家族の方へご迷惑をおかけしております。 手術前の待機時間に関しては、お待ちいただいている時間も考慮しながらお声がけし、不安や負担が軽減できるよう取り組んでまいります。 また、枕についてもご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。より安楽に使用できるようにと考えております。 　手術後に使用するフットポンプにおいては、下肢静脈血栓症予防の目的で実施しておりますが、音や振動があるため、クッションやマット、寝具等を用いてできる限り負担を最小限でおさえられるよう努めてまいります。 　この度は貴重なご意見いただき有難うございました。

いくつかの病院にお世話になり入院してきましたが、初めて持った食器の重いこと、食べた後でもすごく重くて病人には1日3回大変でも頑張っていますが考えられないのですか。他の病院のものも見られてはどうですか。	ご意見ありがとうございます。 現在、入院中の患者様に使用しております食器は一般家庭で使用している陶器食器や強化磁器を使用しております。 この食器を導入しましたのは、より家庭的な食事の提供を病院生活でも感じていただきたいとの思いと、従来から使用しておりましたメラミン食器については、軽くて持ち運びしやすい利点はありましたが、当センターの病気治療の1つである抗がん剤治療により食器の臭いが気になる患者様が多くいることなど踏まえて臭いの軽減を図る目的として導入いたしました。 今回ご指摘いただきました「重さ」については、食器の特質上どうしても発生致しますのでご理解いただきますようお願い致します。 尚、今後新しく食器を購入する際には再度軽量な食器がないか調査検討して参ります。
初めての入院ですが、男性患者の多い泌尿器科でシャワー室に鍵をかけられないのはとても不安です。倒れるような状況が起こりうる人は別として、鍵をかけてもいいようにしてもらえないでしょうか。	この度は、患者さんを不快なお気持ちにさせてしまい申し訳ありませんでした。 シャワーは身体を清潔にし、爽快感を得ることができますが、のぼせや起立性低血圧、転倒や骨折など予期せぬ事故が発生するリスクがあります。当院では患者さんの安全を守ることを最優先し、異常の早期発見と緊急時の迅速な対応の目的でシャワー室の施錠は原則行っておりません。 看護師は患者さんがシャワー中であることを把握しておく必要があるので、予約表の記載と、入浴時・終了時に声をかけていただくようにお願いしております。また、誤って他の方が入室してしまうことがないよう、シャワー札を用いて使用中であることを周知しております。 ご理解、ご協力いただくよう宜しくお願いいたします。

【令和2年4月　ご意見箱に寄せられた謝辞】

今回初めてがんになり入院して看護師さん達、先生達の仕事の大変さを痛感し、感謝しています。出来るだけ身体を早く元に直していくことが、看護師さん、先生達への気持ちの返し方だと思ってます。苦しくても出来るだけ頑張って退院します。家族の人、会社の人達も同じ気持ちです。少しはわがまま言うかもしれませんが宜しくお願いします。有難うございます。退院したら大阪城公園に来て皆様の顔を見れたら幸せです。
二度目の入院で今日3日目です。いつも医師の皆さん、看護師さん、事務方の皆さん、それよりなによりも清掃されてる婦人の方々に感謝申し上げます。病室の清掃時にはいつもこちらの居場所を確認頂きながら業務に励んでいらっしゃる姿に頭が下がります。トイレにしてもいつ使わせて頂いても汚れに出会ったことがありません。人の嫌がる嫌な仕事を丁寧にして頂き本当に有難うございます。共通のスペースもいつも美しく、整理、整頓、清潔で使いやすくいつも嬉しく使っています。医師の先生方はもちろん看護師の皆さんの評判もこんな裏方の努力も更なる輝きに繋がっていると思います。
6日から入院して本日で4日目になります。なでしこ●号室の者です。素晴らしい看護師の皆様、スタッフの皆様、そして昨日も投函しましたが清掃に係る皆様、本当に感謝に耐えません。本日は看護師さんの中でもお二人の方を紹介させてください。●●さんと●●さんです。●●さんはすぐ●●ちゃんと下の名前で呼んでしまう程、お人柄がよくお二人とも医術、医療の技術の高さだけでなく、心の面、メンタル、その技能、技術に加えて人柄の良さが私達病人にとり何よりも大切であり必要不可欠なものです。何か見返りものでもと考えたりしますが、それもかえって迷惑になってはと思案にくれます。結論としてこんなに素晴らしい病院にお世話いただいていること感謝、感謝です。妻からも本当によかったといってくれていますので喜びは倍増です。本当に有難うございます。そしてこれからも宜しくお願い申し上げます。
3月初め、通常の診療で受診したところ、急に入院が決まりました。病気を見つけて下さった先生には大感謝です。同時に1週間後に娘の結婚式を控えていた為、困惑もしてしまいました。遠方での式を計画していた娘達ですが、昨年末にがんが見つかった私の為に式場をキャンセルし、あらたに場所を京都に変更してくれたという経緯がありました。是非とも出席したいと願っていました。病棟スタッフの方々は励まして下さり、携帯用酸素ボンベを借りることなど色々と考えて下さいました。おかげさまで許可がおり出席することが出来ました。家族だけのささやかな式ですが、ウエディングドレス姿の娘の晴れやかな笑顔を見ることができ幸せでした。式の3日後にコロナ対策の為、入院患者の外出が禁止になりました。検温に来られた看護師さんが「結婚式が禁止前でよかったとナースステーションで話題になっていましたよ」と言われ、皆さんが気にかけて下さったのだとありがたく思いました。又、ウイッグに慣れない為、ヘアサロン「こもれび」の店長さんにお聞きすると、病室まで来てくださり、髪型も式にふさわしいものにアレンジして下さいました。外出許可が出た時も我が事のように喜んで下さり、当日朝には開店前のお店でウイッグをつけていただきました。1カ月弱の入院でしたが、先生はじめ病院の皆様にたくさんの支えと優しさをいただき感謝でいっぱいです。本当に有難うございました。

たくさんの謝辞ありがとうございました。